

観光立国の実現は地方(地域)から

課題と針路を語る

出席者 順不同

- JTB社長 高橋 広行氏
- KNT-CTホールディングス社長 米田 昭正氏
- 日本旅行社長 堀坂 明弘氏
- 東武トップツアーズ社長 坂巻 伸昭氏

司会=本社取締役編集長・森田淳

国内旅行増売へ、各社の取り組みは

オリ・パラ開催で需要創出期待もIT化、ウェブ化への対応急務

2020年の幕開け。今年は旅行業界にとってどんな1年になるのだろうか。東京オリンピック(五輪)・パラリンピックなど、需要の創出が期待される明るい話題がある一方、IT化、ウェブ化の波が一層押し寄せ、既存のリアルエージェンシーも経営の大きな変革を迫られている。本紙新年号恒例の大手旅行業4社トップ座談会。今年は「令和新时代のツーリズム」課題と針路をテーマに4氏に語っていただいた。【東京のパレスホテルで】

19年の旅行業界を回顧



高橋氏

写は、特に団体旅行でかなりの影響が出た。国が「ふらっと」を推進したが、われわれは業界挙げて支援を行う必要がある。日韓関係の悪化と香港デモは、アウトバウンド、インバウンド共に相違ない打撃となっている。早い解決を願っている。

米田 エポックメイキングな出来事が三つあった。一つは社内構造改革推進。近畿日本ツーリスト(KNT)とクラブツーリズム(CT)の親管理の統合や、後に話が

MICEが経済効果10連休で動き活発に

高橋

米田

消費税の増税は、私どもとしては、まだプラスともマイナスとも言えない。増税前の駆け込み需要はあまりなかったし、増税後の需要の冷え込みは、自然災害。10月の台風19

出たところが、協定旅館ホテル連盟などの組織の一体化など、さまざまなことを進めている。

二つ目は6月のG20大阪サミット。われわれ近鉄グループが関西拠点として、いろいろお手伝いをさせていた。首脳陣の移動もお手伝いし、無事に終わって何よりと考えている。



堀坂氏

お話された通り、わが社も今のところ大きな影響は出ていない。

堀坂 GWの10連休は、かなりの需要を取り込むことができた。今までは、国内は好調だが海外が今一つだった。ただ、19年は国内、海外ともに、旺盛な需要をリアルに実感できた。10連休を見据えてわれわれもかなり早くから仕掛けをしてきたし、社員が頑張った成果だと思う。

改元については、われわれの若手も前向きに捉えており、旅行も含めて日本全体が盛り上がった。

クラブツーリズムは当社も海外のエージェントからのツアー



謹賀新年



下呂泉



水明館

〒509-2206 岐阜県下呂市幸田 1268

TEL (0576) 25-2800 FAX (0576) 25-4520 <https://www.suimeikan.co.jp/>